

医療・保健・福祉・市民の情報交流の場
大村市在宅ケアセミナーだより

第98号 平成23年9月

発行元：〒856-0820 長崎県大村市協和町779

(社)大村市医師会 大村市在宅ケアセミナー広報部 TEL:0957-54-0151

ホームページ：<http://www.nagasaki.med.or.jp/oomura/caresemi/index.html>

第115回 大村市在宅ケアセミナーのご案内

日時＊第3木曜日 9月15日(木)18:45～

場所＊大村市民会館 3階大会議室

内容＊「高齢者の終末期

～どうやって、生きる事を支えるか～」

うぐいすの丘

副施設長 柿田京子 氏

大村市医師会在宅介護支援部

部長 酒井眞弥子 氏



**大村市在宅ケアセミナーの
会員証ができました**

本年度より、年会費を納金頂いた方に会員証を発行することになりました。

セミナー受講の際は、受付での提示をお願い致します。



セミナーに参加されるときに、受付で提示してください。

会員番号

領収日

氏名

サンプル

氏名欄は必ずご記入ください。

第114回 大村市在宅ケアセミナーのご案内

日時* 第3木曜日 7月21日(木)18:45~

場所* 大村市民会館 3階大会議室

内容* 1)日本ケアマネジメント学会 報告

報告者 上野桂信 氏・楠本道子 氏

2) ①「被災地(福島県)での保健師活動報告」

大村市保健師 藤井直美 先生

②「被災地(宮城県南三陸町)から学ぶ活動支援について」

あんのん 白仁田敏史 先生

③「被災地(宮城県)での活動から感じたこと」

大村共立病院 薬剤師 福永圭一 先生

参加人数* 85名(会員79名+会員外6名) 新規入会13名

《感想など》

* 被災地の様子を身近に聞けたところは、とても参考になった。マスコミの報道では知りえないことも多く、被災地の現状の一端を知り得たことは貴重だった。

* トイレが汚い!という話があったが、それを改善する行動(発言)はあったか? 他に行くことができない人々は、そのトイレを使用しないといけない。生きるために必要な排泄、そのままだと確実に悪い方向に進むのではないか。

＜福永圭一先生からの回答＞

水を使うことが出来なかったので、クレベリンスプレーなどを噴霧して除菌を行っていた。それ以上のことは不可能だった。

現在の状況・・簡易トイレは使わずに、学校の水洗トイレを使うことがほとんどのようですが、各避難所に3から5基は まだ簡易トイレが使用可能となっている。問題は、放置された簡易トイレで、ガムテープなどで締めてありますが、ごろごろしているようで本来は運び込んだ機関や団体が、撤収しなくてはならないが放置したままになっている。

* どの講義も、とても参考になりました。やはり、地域での助け合いや情報の共有は、必要不可欠であることを感じ、災害がおこる前、今からしっかりと実施していかなくてはいけないと思いました。ありがとうございました。

* 大村でも多くの有志の方々が被災地で活動されていたことに、大変感動しました。そして改めて医療・介護・行政の連携が大切であると感じました。

他にも、多くの感想を頂きました。

11月の大村市在宅ケアセミナーは、 20周年を記念して市民公開特別講演会を開催します。

「支える側が支えられるとき ～認知症の母が教えてくれたこと～」

＜講師＞ 詩人・児童文学作家。日本児童文学者協会会員
藤川幸之助先生

平成23年11月17日(木)
18:30開場 19:00開演
会場:シーハットおおむら さくらホール

同封のチラシを
ご覧ください